

● 平成 28 年度 第 2 回 『こどもの脳腫瘍』 ●

講 師：広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之先生

実施日時：平成 28 年 9 月 18 日（日） 14：00～16：15

会 場：南区民文化センター

対 象 者：脳腫瘍の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：9 名（家族 5 名、歯科医師 1 名、大学生 2 名、患者会 1 名）

こども 2 名

担当：広島市

● 講演内容

①小児脳腫瘍の治療について

②脳腫瘍の病態・治療薬・解明されつつある遺伝子異常・免疫のしくみ

③治療・放射線療法の進歩・陽子線治療の詳細

● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「情報を得て今後の治療および判断をする材料になればと思った」

「こどもの病気や治療について参考にしたかった」

「小児の脳腫瘍について勉強したかった」

<参加された方の感想>

「新しい治療方法の情報を得ることが出来た」

「とても分かりやすく教えていただけた」

「少人数でゆっくり話が出来た」「普段話せないことを話すことができた」

● 相談員から一言

一昨年度から 2 回目の脳腫瘍の交流会を行いました。当日雨だったこともあるのか参加人数も小ぢんまりとしたものでしたが、その分しっかりとご家族にお話していただきました。研究が進んでいる最新の治療についての説明は、脳腫瘍をお持ちのお子さんのご家族にとって心強い情報の提供となりました。

後半の交流会は患者会の先輩保護者の方からの体験談や助言を聞くことの出来る貴重な機会となりました。発症して間もないお子さんのご家族は、わが子の病気が受け入れ難く混乱することもあります。そんな時寄り添える仲間の存在は心強いものとなることを再度認識させられました。参加人数が少なくても交流会は続けていきます。

